

毎週日曜発行
2022 6/5

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

26

サッカーのワールドカップが11月に開幕するよ。仙台市で育った日本代表のゴールキーパー(GK) シュミット・ダニエル選手は、夢の舞台に立とうと気合が入っているよ。どんな子どもだったのかな。

父はアメリカ人、母は日本人です。アメリカで生まれ、2歳のとき父の仕事の関係で仙台にやって来ました。日本語が分からず、幼稚園の初日に大泣きしながら登園したのを覚えています。ただ、

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

憧れの選手を手本に練習

小さい頃から体を動か



子どもは慣れるのが早いので、小学校入学までには普通に日本語を話せるようになりました。

海外での生活は家族がいちばんのよりどころ。緑豊かな公園が多く、2人の子ともと楽しく遊んでいます。



シュミット・ダニエルさん
(30歳・サッカー日本代表GK)

シュミット・ダニエル アメリカで生まれ2歳のとき来日。仙台市八幡小、川前小、東北学院中学・高校、中央大学を経(へ)て2014年にベガルタ仙台入団。2019年にベルギーのシントトロイデンに移籍した。身長197センチ、体重93キロ。

すのが大好き。幼稚園の帰りに、父と公園でバスケットボールをするのが楽しみでした。サッカーは3歳ぐらいで始めたけど、初めはそれほど熱中しなかったかな。小学生になり、テレビでJリー

グの試合を見て「カッコいい」と思ったのがサッカーを本格的にやるきっかけです。憧れた選手は中山雅史さんと本山雅志さん。中山さんはとにかく点を取るところ、本山さんは両足でボールを扱えるところがすごい。本山さんをお手本に、左足で蹴る練習をしました。中学、高校でもサッカー

を続けましたが、プロになれるとは思っていませんでした。体育の先生を目指していて、大学を受験するつもりでした。結果としてスポーツ推薦で大学に進み、プロになれたのですが、勉強も大切ですよ。特にこれからの時代、英語力は必要になると思います。大学進学からプロ入り、海外移籍と新しい環境に飛び込んできました。ベルギーに行くときはかなり勇気が必要だったけど、行ったら乗り越えられた。こども新聞の読者には「思っているほど世界は怖くない。積極的にチャレンジしよう」と伝えたいです。ことはワールドカップがあります。サッカー選手として最大の目標。試合に出られるようベストを尽くします。応援よろしくお願いします。



を続けましたが、プロになれるとは思っていませんでした。体育の先生を目指していて、大学を受験するつもりでした。

今週の注目ニュース

◇6月8日(水) サッカーU-16国際大会開幕
仙台市のユアスタ仙台で、3年ぶりに16歳以下のサッカー国際大会「インターナショナルドリームカップ」が始まるよ。前回優勝した日本と、韓国、メキシコ、ウルグアイの4カ国が参加します。12日まで。

きょうの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー